

なかしゅんべつ

2014

7

No.438



目次

中春別農業協同組合通常総会…2～5

豊原運動会…………… 6～7

青年部のページ…………… 8～9

女性部のページ…………… 9～11

JA中春別乳牛共進会…12～13

年金友の会のページ…18～19

同志会通信…………… 21

新職員の紹介…………… 22～23

地域が一体となって開催された「豊原運動会」。青空のもと汗と笑顔がはじけた楽しい1日となりました。

中春別農業協同組合第40回通常総会

「活気と潤いに満ちたゆとりある
中春別の振興」の達成にむけて

第40回中春別農業協同組合通常総会が6月4日、農業者
団地センターで開催されました。

総会に先立ち優良組合員、
乳質改善・良質乳生産組合
員、経営移譲感謝状授与者、
永年勤続職員、新規就農激
励状授与の表彰授与が行わ
れました。

開会にあたり小湊組合長
より「国内の近況でありま
すが、わが国の経済はデフ
レからの脱却を優先課題に
掲げ、積極財政・金融緩和・
成長戦略などを打ち出し円
安・株高基調の中、景気の持
ち直しを見せているところ
でございますが、まだまだ
地方においてはこの実感が
薄いところがございます。

農業を取り巻く情勢です
が、政府はこの国の形を大
きく変える可能性のある
TPP交渉を進めており、

その推移について大変憂慮
される問題となっております。
す。



開会の挨拶を述べる小湊組合長

本日、総会の中で「TPP
等国際貿易交渉から北海道
を守り抜く」決議を提出さ
せていただきますが、第一次
産業を基幹産業とする当地
域の経済、社会全体の衰退
を招くことになるこの交渉

につきましては断じて容認
できるものではなく、毅然
として先の衆参両院におけ
る農林水産委員会決議の遵
守に向け、引き続き粘り強
い運動を展開する必要があります。
一方政府は、日本再興戦
略の実現に向け産業競争力
会議・規制改革会議等を設
置し、5月中旬には「農業改
革に関する意見」と題する
改革案が発表されました。
その内容は中央会制度の
廃止や全農の株式会社、単



佐藤専務理事より組合員の皆様へ説明がされました

協における信用共済事業の農林中金・共済連への事業移管という大改革が盛り込まれ、併せて農業委員会の選挙制度・農業会議所制度の廃止・農業生産法人の各要件を廃止、緩和する考え方が示されており。今日までのJ.A、連合会組織が果たしてきた役割を無視した内容であり、唐突であると言わざるを得ません。今後、系統内における自主的改革議論は当然のことながら、これら意見の内容を精査し組合員の理解を得ながら、その動向を踏まえ対応していかなければなりません。

こうした中、加工原料乳生産者補給金単価は25銭値上げの12円80銭、関連対策の創設や拡充を加えますと13円25銭相当となり、生産意欲にはプラスとなりましたが、円安などに伴う生産諸資材の高騰という不安要素があることから、状況に応じては早期に必要な対策を求める対処が必要と思われます。交付対象数量は1万tのみ減で180万tの

大台を守り、乳製品不足や再生産への意欲を考慮した内容でありました。本年度の用途別原料乳価格については、国産牛乳乳製品を安

定的に供給し、需要の喪失を招かないためにも酪農生産基盤の安定が不可欠でありました。結果として、消費税を加味しない場合3円9



理事者からの説明に真剣に耳を傾ける出席者の皆さん

銭の上げ、消費税分を合わせますと5円47銭の引き上げとなつてございます。

近年、国際的な経済異常が短期間で変化しており、加えて想定以上の異常気象が発生し、生産現場においても悪影響がもたらされるようになりました。今後、大きな情勢変化が生じた場合には、機動的な対策の検討が必要と認識するところでございます。平成25年度の当地区内の生乳生産実績は11万4750トンで、前年対比96.2%の実績であり



議長に豊原地区・渡邊寛氏、中春別地区・原内修氏が指名されました

ました。搾乳戸数の減少や予期せぬ自然災害による被害、加えて粗飼料の品質低下や分娩時期のズレなどによる悪条件化の現場におきまして、組合員の皆様を始めご家族が一丸となつて生乳生産に取り組まれた日々のご努力に対し、心から敬意を表すると共に感謝を申し上げる次第でございます。最終年となる第8次生乳安定生産対策は、生産基盤維持拡大のため全道一律の目標伸び率103%と設定されております。当農協も出来る範囲で諸対策を講じますので目標数量に近づけるべく達成を切願いたします。

河川に家畜糞尿流出を防ぐべき別海町畜産環境に関する条例を施行

近年、酪農環境問題が表面化される中、家畜糞尿や雑排水が河川に流出する事故が発生しております。この現状を早急に改善すべく、別海町は各関係機関と連携を図りながら本年4月より

「別海町畜産環境に関する条例」を施行されております。規制部分については、3年間の猶予措置がされておりこの期間中に、組合員個々の施設環境を確立する必要があり戸別に調査を行ってまいります。

平成27年7月より、本格稼働予定の別海バイオガス発電事業への参加利用や別海北部地区国営灌排事業などを含め、体制整備を図り酪農現場における生産活動が地域・他産業の理解と信頼を得るべく、適切な管理と処理を実践し環境規範を遵守することをお願い申し上げます。

平成25年度のJAの事業成果につきましては、生乳・個体合わせた総生産販売高が1119億7800万円と計画以上の実績を上げることが出来ま

した。これもひとえに、組合員とご家族皆様の日頃の弛まない努力とJA事業へのご理解・ご利用の賜物と深く感謝する次第であります。後ほど議案の中でご説明

いたします。これもひとえに、組合員とご家族皆様の日頃の弛まない努力とJA事業へのご理解・ご利用の賜物と深く感謝する次第であります。後ほど議案の中でご説明

いたします。これもひとえに、組合員とご家族皆様の日頃の弛まない努力とJA事業へのご理解・ご利用の賜物と深く感謝する次第であります。後ほど議案の中でご説明



いたしますが、磐石で強固な財務基盤構築に向けて、自己資本増強のため剰余金の大部分は、昨年と同様に内部留保に向けた提案であ

いたしますが、磐石で強固な財務基盤構築に向けて、自己資本増強のため剰余金の大部分は、昨年と同様に内部留保に向けた提案であ

いたしますが、磐石で強固な財務基盤構築に向けて、自己資本増強のため剰余金の大部分は、昨年と同様に内部留保に向けた提案であ

いたしますが、磐石で強固な財務基盤構築に向けて、自己資本増強のため剰余金の大部分は、昨年と同様に内部留保に向けた提案であ

いたしますが、磐石で強固な財務基盤構築に向けて、自己資本増強のため剰余金の大部分は、昨年と同様に内部留保に向けた提案であ

いたしますが、磐石で強固な財務基盤構築に向けて、自己資本増強のため剰余金の大部分は、昨年と同様に内部留保に向けた提案であ

健全な農家経営とJA運営を築く

昨年を農協スタンド前の道々が高規格化に伴う工事着工準備に入ることから、給油所の全面移転による新設、加えてAコープ店舗の改装など将来を含めた事務所周辺の整備について、施設等有効利用検討委員会から具体的答申を受けました。昨年度の総会におきまして、答申にかかる固定資産等の取得に対しご承認をいただき、昨年末無事完了しております。組合員の皆様には、工事期間中ご不便やご迷惑をお掛けいたしました。ご理解とご協力をいただきましたことに改めてお礼を



新規就農激励状授与者 江口嗣央氏



新規就農激励状授与者 竹下 暁氏



新規就農激励状授与者 江口育美氏



新規就農激励状授与者 竹下由香里氏

申し上げます。

国内外の状況が急激に変化し、将来に向けて不透明感が漂う中、組合員の生活向上を図り消費者からも理解を得る農協の各事業を推進してまいります。外的要因に影響される今日の酪農畜産ですが、臆することなく立ち向かい、一歩一歩着実に健全な農家経営並びにJA運営を築き、スローガンであります『活気と潤いに満ちたゆとりある中春別』の振興と更なるステップアップに全力を注ぐ所存でございます。組合員の皆様のご支援を改めて宜しくお願いを申し上げます。

結びになりますが、行政を始め系統連合会並びに各関係機関に対しまして、今後ともより一層のご指導とご支援を心からお願ひ申し上げます」と挨拶がありました。

引続き北海道根室振興局長・田中宏之氏、別海町町長・水沼猛氏、JA北海道中央会根釧支所長・平田靖氏よりそれぞれ挨拶をいただきました。

した。

議長には豊原地区・渡邊



監査報告をする平井真一代表監事

覚氏、中春別地区・原内修氏が指名され議事に入りました。

議案第1号平成25年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認から議案第7号役員報酬審議委員会委員の



と連携をお願いするところであります」と挨拶がありました。

平成25年度

優良組合員表彰者

奥山 秀幸

乳質改善・良質乳生産組合員表彰者

奥山 秀幸
菅原 美香
佐藤 樹元

経営移譲感謝状授与者

野矢 勝己

永年勤続職員表彰者(20年勤続)

郡司 英幸
相澤 幸司

新規就農激励状授与者

江口 嗣央
江口 育美
竹下 暁
竹下由香里



優良組合員表彰 奥山秀幸氏



経営移譲感謝状授与者(代理) 野矢貴志氏

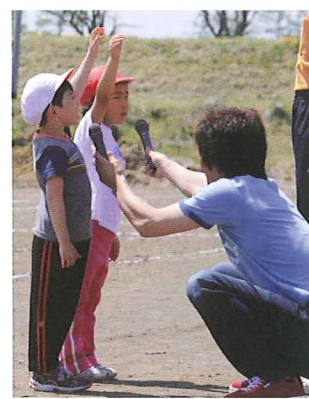
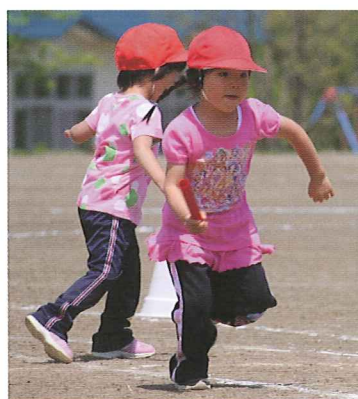
走って、飛んで！

豊原運動会

「愛人」のカードを持っていますが、なっ、何の競技ですか？



晴天に恵まれた中、地域の皆さんの交流と親睦、元気さを発揮した豊原地区運動会が、旧豊原小学校で5月31日(土)開催されました。



可愛い選手宣誓をする園児



全速力で頑張っています



借り物競走、いい笑顔です！運動会はいいですね！



見るのとやるのは大違い、思う方向に行ってください

笑って爽快な汗!!



みんなの息を合わせて…百足競走



大きな口を開けて「口でパン食い競走」

晴天に恵まれ、地域の皆さんの交流と親睦、元気を発揮した豊原地区運動会が、旧豊原小学校で5月31日(土)開催されました。運動会には園児からお年寄りまでを対象に趣向を凝らした競技が行われ、保育園児のかけっこ、小学生から一般の100M走から始まりました。

大玉を転がしたり、縄跳びをしながら走り小学生の子供たちからお父さん、お母さんたちへとリレーをつないでいく「パイロツトレース」。アンカーのお父さんたちにバトンが渡され、ゴール手前で見せた接戦に、応援席からは身を乗り出し「がんばれー! 追い抜けー!!」と必死の声援が飛び交い、手に汗握るリレーとなりました。

園児たちの遊戯「あいるサンバ」では、元氣いっぱいには踊る園児たちが可愛らしく、カメラ片手に見守るお父さん、お母さんのほか、賞品係のおいしいちゃん、おばあちゃんまで「がんばってー」と見入ります。その他競技では「借り物競走」や「玉入れ」「パン食い競走」などでひと汗かいた後は、親子で参加の「とよはら魂」、園児達の「ごほうびなあい」で運動会は終了しました。お昼からの懇親会では、美味しいお肉を囲みながら、運動会の感想を話し「夢中で走ったから明日は足が痛いなあ」と笑いながら楽しいひと時を過ごしました。豊原地区の皆さんの気持が一つになった1日となりました。また、準備から後片付けまでと企画をされました皆さん、ご苦労さまでした。



大玉を必死に転がす園児



紅白に分かれ、どっちが入ったかな? 「玉入れ」競走



「あいるサンバ」を可愛らしく、元気に踊る園児たち

お互いに気持ちを通い合わせた 懇親会

新入部員歓迎会並びに農協男性職員との交流会

青年部（松井和孝部長）では、6月13日（金）に新入部員、青年部員、農協男性職員との親睦を深めることを目的に、合わせて26人が参加し交流会を盛大に開催しました。



松井青年部長の首頭で懇親会が始まりました



同じ世代同士すぐに打ち解けあい、話も弾みました

当日は悪天候のため予定していたソフトボール大会を急遽取り止め、懇親会のみとなり、居酒屋將軍にて開催されました。お互いに酒を交わしながら、部員、農協職員ともざっくばらんにお互いの仕事の苦労話や、異性に関するプライベートな話など飲むほどに話もすすみ、時がたつのも忘れるほど大いに盛り上がりました。お互いに気持ちを通い合った懇親会となったのではないのでしょうか。

TMRセンターの仕組み、メリットを分かりやすく説明

TMRセンタに関する勉強会



金子課長を講師に招き説明をいただきました

青年部（松井和孝部長）では、北平系会館において青年部員16人が参加のもとTMRセンターに関する勉強会を6月11日（水）開催しました。

講師にはオーレンス総合経営より金子課長を招き、TMRセンターの仕組み、メリットなど基本的なことを説明いただき、その後、投資のイメージや経営コストの説明をいただきました。部員からは「構成員の経営所得は上がりますか



スライドを見ながら仕組み、メリットなどを分かりやすく説明。参加した青年部員も真剣に聞き入っていました。「構成員の入替などはありませんか？」など、酪農後継者として経営に影響する部分に疑問に感じ、多くの質問が出され活発、有意義な勉強会となりました。

牛乳を試飲された方から、「いつも飲んでるより美味しい」と絶賛

青年部(松井和孝部長)女性部(齋藤道子部長)では、消費拡大運動「牛乳・乳製品無料試飲・試食会」を5月25日(日)新千歳空港東急百貨店において開催しました。今

回は牛乳、ハニーミルク、さけるチーズ、別海バターの4品の他、青年部オリジナル軍手などの消費拡大グッズも持参し、運動展開いたしました。



多くの来場者で賑わい行列ができるほどの大盛況となりました

当日は牛の着ぐるみ、別海ミルクガールのイベントも周知の影響もあり、たくさんの方々が集まり、試飲された方からは「いつも飲んでる牛乳よりおいしい!」「おいしい牛乳いっぱい搾ってください!」との言葉をいただきました。持ち込んだ商品は全て売り切れと共に、店頭



青年部・女性部の皆さん大変お疲れさまでした



「美味しい牛乳を搾って」と嬉しい言葉

置いてある商品も昨年より1.5倍の数量を陳列してもらっていました。ほぼ完売となり今年も大盛況のうち幕を閉じました。

雪印メグミルク(株)との意見交換会 小さな子供をもつ 母親向けの出前講座の必要性

青年部(松井和孝部長)では、今後の消費拡大運動の足掛かりになるようにと5月24日(土)雪印メグミルク(株)との意見交換会を行いました。

最後に、私たちメーカーも今後消費拡大に力を入れていくので、今後も、もつと牛乳を搾ってくださいと要望されました。

始めに「ミルクで行った」牛乳製品に関する食生活動向調査をもとに、消費者の牛乳製品への現状を報告いただきました。昨今での飲用乳消費減少の主な原因は、①下痢予防②価格の上昇③味の好みの変化であり、消費拡大を訴えるため学校などで出前講座なども開催しているとのこと。牛乳を飲むかどうかは家の冷蔵庫に商品があるかが重要であり、乳幼児から保育園など小学校に上がる前のお子さんを待つ母親に向けた出前講座の開催が必要であり、CMなどでの周知もそこを目標としていただきたいと要望をいただきました。

販売取組では、200、300、500mlの商品を販売する



「もつと牛乳を搾ってください」とメーカーから要望されました



中春別農協女性部(齋藤道子部長)では、部員18人が参加し5月27日から28日にかけて宿泊研修に行ってきました。

当日は小雨が降るあいにくの天気でしたが元気に出発。途中、網走で昼食をとり中華のランチコースで舌鼓、お腹がいっぱいになったところで最初の目的地の上湧別チューリップ公園へ向かいます。あまり良くなかった天気も皆さ

らの日頃の行いが良いからかチューリップ公園に近づくにつれ、天気はどんどん回復し、到着する頃にはすつきりとした快晴になりました。上湧別チューリップ公園は花壇の総面積が7万㎡で珍しい品種を含めて100種以上、120万本も

咲き誇るチューリップを堪能 夜は豪華な会食を満喫

のチューリップが植えられていきます。たくさんのチューリップがちょうど迎えており、部員の皆さんはガイド付きバスで広い公園の中をぐるりと一周。バスを降りた後は貸出しているオランダ衣装に着替えて記念撮影をしたり、珍しい品種のチューリップ



広大なチューリップ公園



オランダ衣装を着て

プを見ながらゆつくりと散策したり、お土産を選んだり自由に過ごしました。チューリップ公園で綺麗な景色を堪能した後は、宿泊先のサロマ湖鶴雅リゾートへ。サロマ湖鶴雅リゾートでは部屋でゆつくりと休憩したり、サロマ湖畔を散歩したり、温泉のんびりと浸かったりと、それぞれの時間を満喫しました。夜には豪華な料理で会食を楽しみました。

北海道チクレン北見工場を見学 徹底した安心・安全な製造行程に驚く

2日目は、風はあるものの暑いと感じるくらいの快晴の中、バスに乗り出発。2日目の目的地、北海道チクレン北見工場へ向かいます。北海道チクレン北見工場では北海道チクレンの竹田次長、北見事業所の下條所長、小西工場長代理に対応していただき、

枝肉を捌く行程を見学させていただきました。北見工場は1日に48頭分の牛肉の処理を行っており、加工室は約40人の職員の方が加工に携わっています。枝肉からの加工方法はま

な板を極力、使用しないミートボーンシステムを採用しており、雑菌の繁殖を防ぐよう徹底した管理を行っております。また、枝肉からブロック肉に加工された牛肉は金属探知機にかけられ、注射針や針金などが残っていないかチェックした後に出荷するとの事で、安心・安全が徹底された製造工程を見る事ができました。

部員の皆さんも自分たちが飼育された牛が製品化されることに強い関心があり、多数の質問が寄せられ、視察時間も少し延長して見学させていただきました。見学後はチクレンの皆さんとチクレンの美味しい牛肉でバーベキューを楽しみ親睦を深めました。

1泊2日の研修旅行でしたが、部員同士の親睦も深まり、のんびりと日頃の疲れを癒す良い機会となったのではないのでしょうか。参加された皆さんお疲れ様でした。



北海道チクレンミート北見工場前



徹底した管理のもと作業を行っています

マリーゴールド、サルビアなどが植えられ 農協前の花壇が華やかになりました

女性部・農協前花壇整備

暖かい日差しの中、農協前花壇整備を6月2日(月)行いました。午前中の作業にも関わらず部員14人が参加し、雑草抜きと土おこしを行った後、マリーゴールドやサルビアなどのお花をきれいに植えていきました。芝生角の花壇に



1株ひと株丁寧にマリーゴールドを移植していきます

はひまわりとコスモスの種が植えられ、これから夏にかけて咲き始めます。農協女性部では毎年部員の皆様と一緒に花と緑にかかわる活動として、1年を通し美しい花壇づく



忙しい中、時間をさいて花壇づくりに協力していただきました

りを行っており、花壇の草取りなどの作業を行うなど心のこもった手入れが続けられ今年1年中、花が絶えることなく、花壇づくりを続けていきたいと思っています。

「自分たちのできることから」を 合い言葉に活動

そよかぜ訪問ボランティア

ランティアを行いました。ボランティア内容は会員によるカラオケと談話です。すずらんへは2度目の訪問で利用者の皆さんもこの日を楽しみに待っていてくれた。会場では、カラオケを聞くためにたくさんの方が待っていてくださり、予定の開始時間より早めて開始しました。計18曲を歌い、利用者の方に歌っていただいたり、すずらんの職員の方にも歌っていただき



唄を披露するボランティアの人数

ボランティア組織そよかぜ(久保二大代表)では、6月17日(火)に別海町グループホームすずらんにて訪問ボ



カラオケと談話で楽しい一時を過ごしました

大いに盛り上がりました。最後は会員、利用者全員で「北国の春」を歌いカラオケを終了しました。カラオケ終了後は利用者の方と談話をし、故郷の話や、家族の話、若い頃の話などたくさんのお話を話して話が終わらないようでした。帰る際には「とても楽しかったです。1年に1度と言わず、何度でも来て下さい。ぜひ、また来てくださいね」と玄関まで見送りしていただき、またの再会を約束しました。会員の皆さんも「楽しいと言ってもらえて良かった。また、喜んでもらえるように今後も計画していきたい」と意気込みを新たにしました。ボランティア組織そよかぜでは、これからもたくさんの方の笑顔に出会えるよう「自分たちのできることから」を合い言葉に様々な活動を行います。活動に興味のある方、訪問ボランティアを一緒にしてみたい方は営農振興課(☎76-2241)までご連絡ください。

今後のショウリングへ向けた、 高レベルの競い合いが開幕する

共和育成牧場においてJA中春別乳牛共進会が6月7日(土)開催されました。

まず開催に先立ち、牛魂祭及び農作業安全祈願が行われ、参列者による玉串奉奠が執り行われました。

5月下旬より季節はずれの猛暑が続いていましたが、当日は肌寒いあいにくの曇り空の中、日頃より手塩にかけて育ててきた牛達41頭(未経産牛29頭、経産牛12頭)の出品があり今後続く共進会に向けて、レベルの高い競い合いを繰り広げました。



審査員には柏葉俊氏があたりました

会場はマリーゴールドな



牛を引いている姿や小さい子供達は親子で牛を引いている姿もあり、ほのぼのとした雰囲気でした。進められていました。なかでも各最優秀リードマンには賞品が贈られ、大変嬉しそうな表情を浮かべ、参加者全員で記念撮影も行

どの花々で飾られ、ジュニアリードマンショウや女性リードマンショウにおいても多くの方々に参加していただき、子供達が一所懸命に

いました。

また、その他には、毎年好評の青年部によるサイコロステーキや、女性部によるミルク豚汁の無料提供もあ

JA中春別
乳牛共進会

り、会場は大いに盛り上がりました。

出品された皆さんには春の共進会シーズンも一段落されたと思いますが、8月

から開催されるこれからの共進会での活躍をお祈りいたします。



小さな子供も牛を引いて登場しました



優秀な成績をおさめられた方々との記念撮影

平成26年度 JA中春別乳牛共進会チャンピオン一覧表

出品番号	名	号	出品者
1001	シニア チャンピオン	FR マツヨ リヴェレスト	浮川 優
1003	リザーブ シニア チャンピオン	ライプリー コレットサム	山田 晃嗣
402	ジュニア チャンピオン	ブルーミング インカ シルキー ピーズ	共和育成牧場
505	ジュニア リザーブ チャンピオン	スウィートブライアー ラスター シヤロン	竹田 潤

最多出品者賞 佐々木靖裕牧場 (6頭出品)

新人賞 中西裕哉さん、寺澤佳吾さん

最優秀ジュニアリードマン 能登 琉花さん (保護者:能登 康幸) 参加者9人

最優秀女性リードマン 浮川 優子さん 参加者12人

平成26年度 JA中春別乳牛共進会成績(1等1席)

出品番号	名	号	生年月日	父	牛	出品者
109	プレゼント マリールンド ウェーブ ガール		H25.9.18	ジレット ティーウェーブ スパークリング ET		中西 裕哉
206	JH クラゼリーナ ライナー RED		H25.7.4	ブラドン レッドライナー RED ET		共和育成牧場
301	フロートリバー アグネス マスターピース リアン		H25.6.5	モーサン マスターピース		浮川 優
402	ブルーミング インカ シルキー ピーズ		H25.1.28	モーサン マスターピース		共和育成牧場
503	スウィートブライアー ラスター シヤロン		H24.10.17	バインツリー シド ET		竹田 潤
602	スカジツ アイオン フォーチユン		H24.6.23	ミッドフィールド CCM アイオン		牧野 修二
703	セイコー ロクセット ジヤスミン		H23.11.4	ミッドフィールド CCM アイオン		宗像 卓朗
801	MM コロンバス カリスマ ダビユーク		H23.6.6	デュバスクワイアー カリスマ		目黒 雅明
904	プレゼント メダリスト ダーナム ロイ		H21.8.12	ロイレーン ジョーダン ET		中西 裕哉
1001	FR マツヨ リヴェレスト		H20.10.9	コムスター リヴェレスト ET		浮川 優



女性部による美味しいミルク豚汁と青年部によるサイコロステーキが提供されました



女性リードマンショーの参加者

乳牛モニタリングと対策

期です。今回は採食状況に
 関連する部分を中心に再確
 認しましょう。

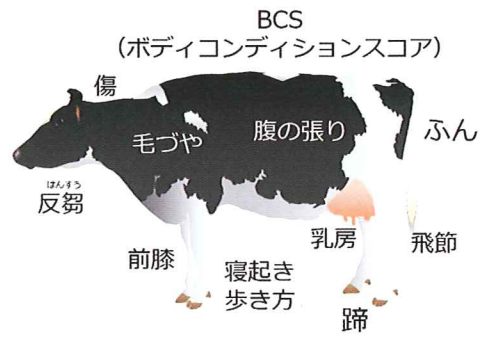


図1 乳牛のモニタリング項目例

モニタリングとは？

モニタリングとは乳牛の外
 貌や行動などを観察する
 ことにより、乳牛が発してい
 る様々なサインを察知する
 ことです。意識して牛を観
 察することで不調の兆候を
 みつけ、早めに対処するこ
 とが出来ます。

何を観察するの？

モニタリングの項目は次
 のとおり、多岐にわたります
 (図1)。

今の季節は暑熱等の影響
 によって、採食量が低下し
 たり不規則になりやすい時



写真1 けん部の状況
 上：不十分 下：十分

1、腹(けん部)の張り

◎腹(けん部)の張り
 粗飼料の採食状況を表し
 ています。採食量が不十分
 な場合は、けん部が凹んで
 います。常時、張りがあるこ
 とが望ましい状況です(写
 真1)。

◎反芻(噛み返し)

反芻は粗飼料(センイ)の
 充足状況を表しています。
 反芻は粗飼料の刺激によつ
 て促進されますが、採食量
 が不十分な場合は、この刺
 激が少なくなり、反芻も弱
 くなります。けん部の張り
 と合わせて確認しましょう。
 反芻は粗飼料給与後、1
 時間〜1時間半後に最大と
 なる場合がほとんどです。
 このときに牛群の概ねの割
 以上が反芻していれば良好
 な状態と判断出来ます。5
 割以下だと要注意です。

【TMRを再確認?】

◎粗飼料の給与量
 採食量を十分にするため
 にはまず、十分な給与量が
 必要です。飼料の切り替わ
 り時は水分変化に注意し、
 給与量を調整することによ
 り、乾物量が少なくならな
 いように注意しましょう。

◎給与飼料のセンイの状

態
 TMRではセンイの状
 態にも注意が必要です。
 攪拌しすぎはセンイを壊
 し、反芻刺激が弱くなり
 ます(写真2)。



写真2 攪拌時間が長すぎてぼろぼろになったセンイ

2、蹄の状態、行動

◎環境
 快適な環境は牛をリラッ
 クさせ、反芻を最大にし
 ます。様々なストレス(暑熱、
 換気不良、過密など)から解
 放することも大切です。

蹄の状態悪化には様々な
 要因が関係しますが、栄養
 的な要因としてはルーメン
 アシドーシス(第一胃内が酸
 性化している状態)が考え
 られます。次のような場合
 はルーメンアシドーシスが
 疑われます。
 ●蹄周辺の発赤や腫れ(写
 真3、4)
 ●蹄壁の溝(写真5)
 ●蹄の冷却行動(写真6)
 ●熱や痛みがあるため、水
 たまりで冷却・鎮痛)

【TMRを再確認?】

◎粗飼料の採食量
 採食量(センイ)が不足し



写真3 蹄周辺の発赤



写真5 蹄壁の溝



写真4 蹄周辺の腫れ



写真6 蹄壁の冷却行動

場合、反芻が制限される
 ことによりルーメンアシ
 ドーシスの危険性が増加し
 ます。
 ◎穀類、配合飼料の給与量
 大麦やとうもろこしとい
 ったデンプン質飼料の過給
 はルーメンアシドーシスを
 引き起こしやすくなります。

◎採食環境や管理
 固め食いや選び食いは安
 定したルーメン発酵を妨げ
 ます。このこともルーメンア
 シドーシスの一因となります。
 モニタリングによって乳
 牛の様々な変化を早期に察
 知し、生産性の低下を未然
 に防ぎましょう。

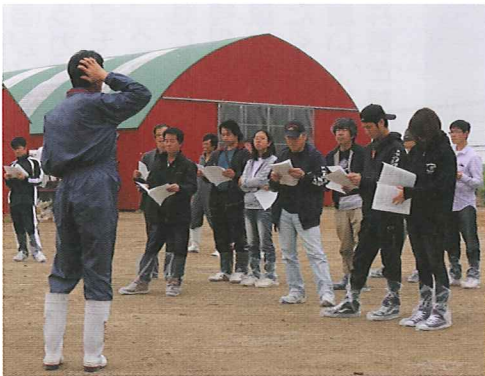


技術・ポイントを分かりやすく説明

豊原振興会現地視察勉強会



共和育成牧場を視察



全酪連育成センターを視察し、友貞部長から概要、取組みなどが説明されました



豊原振興会では、酪農技術の向上を目的とした勉強会を5月27日開催されました。
当日は38人の会員が集まり、哺育・育成技術向上のため共和育成牧場と全酪連育成センターの視察し、中春別農協生産部友貞部長から牧場の概要や取組み内容の説明を受けました。

視察中、先輩農家から若い農家に育成する際の見るポイントや、良質なロールを買いつける際の見分け方など、現場ならではの技術を伝えている光景や、日々疑問に思っていることを先輩農家に質問したりと、熱心に取組んでる姿が印象的でした。



豊原連合会（青野芳樹会長）、豊原酪農振興会（渡辺寛会長）では、6月5日（木）に豊原会館にて、「防火講習」火災から家族や財産を守るために」と題し、別海消防署より秋田署員を講師に招き講習会を開催いたしました。
別海町内での昨今の火災発生状況は25年で12件、26年で既に9件（1月より）の火災が発生しているとのこと。また、過去5年間の出火件数を人口1万人当たりの比率で比べてみると、札幌市2

酪農地帯ならではの出火が原因

豊原連合会・豊原酪農振興会合同講習会



スライドを見ながら火事の恐ろしさを実感

・9件、釧路市3・3件、根室市3・1件のなかで、別海町は9・4件と全道的にみても火災発生率が非常に高い地域であります。
牧草作業機械からの出火や、暖房用に設置した灯光器からの出火などで、酪農地帯ならではの出火が多くみられるとのこと。す。
組合員皆様におかれましては、日々の作業、また機械の点検・修理には十分に留意いただきますようお願いいたします。

森・川・海をひとつに豊かな自然環境づくり

JA中春別植樹祭



森・川・海をひとつに豊かな自然環境づくりを合言葉に、JA中春別では6月9日(月)美原地区(農協所有地)の草地0.3haで植樹祭を行いました。

当日は小雨が降る中、組合員を始め別海町、野付漁協組合、根室振興局、釧路開発建設部、別海町森林組合など多数の関係機関より参加いただき、約1000人の参

加者が750本の苗木(桜・ナラ・シラカバ・エンジュ・ドロノキ・ヤチタモ・ケヤマハンノキ・シナノキ)を、スコップ片手に額に汗をにじませながら2時間程かけて1本1本植樹しました。

最後に10年後、20年後に苗木がたくましい木々へと生育するのを願い、小湊組合長、磯田副町長、松井青年部長、斉藤女性部長による標柱杭を立て、植樹祭を終えました。今後も中春別地域河川流域環境保全推進委員会を中心に、環境に配慮した資源循環型酪農の推進を行う計画でありますので、皆さんのご協力をお願いいたします。参加されました皆様お疲れさまでした。

利用者のニーズに合った店舗を目指し

Aコープ店舗利用懇談会

より良いAコープ店舗を目指して、利用者との懇談会が6月10日に開催され、始めに小湊組合長より店舗利用者懇談会委員7人に委嘱状が交付されました。



誰でも気軽に利用し、より良いAコープ店舗にするための懇談会が開催されました



建設的な意見が多く出されました

Aコープ店舗を利用して感じたことや気付いた点など、総務経済委員との意見交換が行われ、利用されているお客様でないといふ気付かない意見が多々あり、今後の店舗運営に参考になる内容でした。

続いて、ホクレンパールライス釧路より講師を招き、お米の美味しい炊き方や新商品の説明を受けました。

その後、金芽米ななつぼしの試食では、「精米精選工程」、「包装工程」、「出荷工程」などを視聴し、試食を行い意見をいただきました(利用者からは、大変美味しいと評判でした)。

平成26年度店舗利用者懇談会委員

- 平林美知子、永野真佐子
- 牧野さおり、竹田有美子
- 佐々木貴子、小野寺幸江
- 篠原いづみ

中春別小学校運動会

雨がちよつと気がかりな曇り空の下、子どもたちが待ちわびていた中春別小学校運動会が6月8日(日)開催されました。

子どもたちは元気一杯に選手宣誓。ラジオ体操で体をほぐした後、競技に入りました。時々、雨がぼつぼつ落ちてくる不安定な

天気なこともあり、生徒だけで出来る競技を午前中に行い、午後から親子競技と大幅にプログラムが変更となりました。

1年生から6年生までが挑む徒競走では全力で走る子供たちの姿、お父さん達はカメラ片手にわが子を探して会場を行ったり来たり、子供の有志を写真に収め、中には「同じ色のTシャツが多くてどこにうちの子がいるのか見つけれない」といったハプニングもありました。競技は、運動会の定番である応援合戦、綱引き、

全力で走って、笑顔がはじけた運動会

リレーが行われ、家族の声援の中、自分の勇姿を見せようと日頃の成果を十分に発揮しました。お昼になるとお腹を空かせた子供たちは一目散に家族のもとへ向かい、お母さん手づくりのお弁当を堪能しました。

優勝は赤437対白388と赤組の勝利となり、運動会は閉会となりましたが、惜しくも優勝を逃した白組の皆さん、来年の運動会

は優勝を目指して頑張ってください。



お互い実力を発揮して接戦です



紅白にわかれての綱引き、必死な顔つきです



小さな子供も力一杯走りました



応援にも力が入ります!



会員増を目指し、活力ある

「年金友の会」にしているこう

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)も30年目という節目を迎え、6月11日(水)に第30回年金友の会通常総会を開催いたしました。

会員数も100人を超える組織となりましたが、会員数に対して

各行事に参加してくれる方が「半数ほどの参加」というのが今の現状で、会長の挨拶の中でも、「会員数の減少



総会では「声をかけ合い会員を増やし、各行事にも積極的に参加しよう」て提案されました

に伴い組織の衰退」という話もありました。また、「年金は貯めるものではなく、使いましよう」と年金を使うこと

によつて、年金友の会の行事へ多くの会員が参加してほしいとのお願いもありました。続いて小湊組合長より挨拶をいただき、北海道信連釧路支所JAバンク推進課長の山崎豊様よりご祝辞をいただきました。その話の中で「お年寄りを狙った詐欺」が増加しているという話があり、会長の話でもあったように「年金を使わず、貯めておく」そこにつけ込んで詐欺が増加しているのも事実ではないかと思えます。

その後、議事に入るにあたり中春別地区の佐々木茂成さんを議長に選出し、スムーズな進行により全議案出席者の賛成のもと無事に終了しました。

総会終了後は、中春別ヘル

スパーク・ふれあいセンターにて春季スポーツ交流会を参加者40人のもと行いました。あいにくの曇り空で風が冷たい状況でのパークゴルフとなりましたが、最終元気な姿を見せていただき皆さんに場を盛り上げていただき無事、春季スポーツ交流会を終えることができました。会員の皆様には、次回



パークゴルフ男子の部入賞者

の行事にも多くの方に参加していただけることを楽しみにしております。

パークゴルフ

男子の部
優勝 田口安次郎
準優勝 篠田 武康

女子の部
優勝 原内 律子
準優勝 関口 和子



パークゴルフ女子の部入賞者

中春別農協年金友の会も皆様のご協力で、今年で30年目を迎えることができました。

今後も年金受給者が増えていく一方で、組織としては衰退していく寂しい状況下にあります。お近くの方で年金友の会に入会されてい

ない方がおりましたら、是非誘っていただければと思います。また、年金友の会に興味がある方がおりましたら、お気軽に中春別農協年金友の会事務局まで連絡いただければと思います。

(中春別農協年金友の会
事務局 ☎76-2314)

春季旅行
伊勢・浜名湖(静岡)
方面へ

初の豪華客船でのんびり、
優雅に船旅を楽しんできました

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長は今年で創立30周年目ということで、今回初の豪華客船による船旅を企画し、5月19日(月)から5月22日(休)にかけて伊勢・浜名湖(静岡)方面まで行ってきました。



浜名湖花博を散策し、見事に咲く花に見とれてきました

1日目 早朝より中春別からバスで移動すると約7時間。ハードスケジュールのもと苦小牧港まで行き、そこから名古屋港まで2泊3日かけ初めての船中泊に期待と不安の中での出

航。(ちようど1カ月ほど前には韓国船沈没と嫌なニュースもあり...)いざ出航すると大型船だけに大きな揺れはないものの、歩くたびにフラフラと一苦労、その後、船上での料理、イベントを楽しみながら1日目終了。

2日目 終日「クルーズ」ということで各々のんびりと。この日はあいにくの曇り空で風が強く、展望デッキから見る大海原もきれいに映らずと少し寂しい気持ちに...「せっか

くの船旅だから思い出を」ということで、夜は船の上でのカラオケ。普段と違う雰囲気でのカラオケに満足し、2日目終了。

伊勢神宮を参拝し、次の日は気温が高い中、北海道にはない花を見に浜名湖花博を散策。

3日目 無事、名古屋港に到着し一安心。下船後はバスに乗り伊勢神宮へ。内宮を周り(伊勢神宮は内

宮(ないくう)、外宮(げくう)とあり、今回は内宮へ)参拝。(ちなみに参拝するときは、最初に最敬礼を2回してから、2回手をたたき、最後に最敬礼を1回するのが正しい作法みたいです)参拝後は、神宮前のおかけ横丁に買い物へ。歩き疲れてか30分前には皆さんバスへと乗車。



伊勢神宮で参拝をすませました

その後は鳥羽港から伊良湖湾



船上での豪華ディナーに皆さん舌鼓

4日目 旅行も最終日となり、この日は浜名湖花博を見に行きました。北海道にはない花に目を引かれ、園内を1時間以上かけ散策。北海道と比べたら気温も高く、額に汗をかきながらも体調を崩す事無く、終始元気な姿に皆さんの若さを感じました。その後は、新幹線に乗り羽田まで行き飛行機で無事の中春別まで帰ってきました。

今年の年金友の会春季旅行も参加された方皆さん、体調を崩すことなく無事終了されたことに感謝しております。また、年々会員数も減少する中で旅行となり、旅行参加者も毎回同じ方々になってきているのが今の現状でもあります。

次回には秋季旅行も控えておりますので是非、他の会員に声をかけて誘っていただき、たくさんの方の参加で交流を図りながら、楽しい旅をしたいと願っております。多くの参加をお待ちしております。

実技を行い ポイントを的確にアドバイス

中春別乳牛改良同志会では、J A中春別乳牛共進会の開催を前に、5月29日(休)中春別地区の佐々木靖裕牧場にて毛刈り講習会を開催しました。

美原地区の山田晃嗣会員、山田博和会員が講師となつて供試牛5頭を用い、実技を行いながら各部位のポイント、トップラインの毛の立て方、毛を残すポイントな



トップラインの毛の立て方などをアドバイス



どアドバイスしていただきました。参加者の中には今年からシヨウを始める会員もあり、講師の2人に質問する姿も見られ、これからのシヨウに向けて大変参考になる講習会になりました。

夏期預託牛の入牧

大きく成長してきてよ~!



毎年行われています夏期預託牛の入牧が、5月31日(土)に共和育成牧場にて行われました。当日は早朝から家畜車により、元気いっぱいな牛達が共和育成牧場に集められました。集められた牛は個体識別番号とネック番号を確認し、授精牧区ごとに振り分けられました。これから広大な牧草地帯に放たれ、のびのびと新鮮な牧草を食べた牛達が我が家に帰る頃には、二回りも二回りも成長し、組合員皆様のもとへ帰っていくことでしょう。





第28回 2オクラス

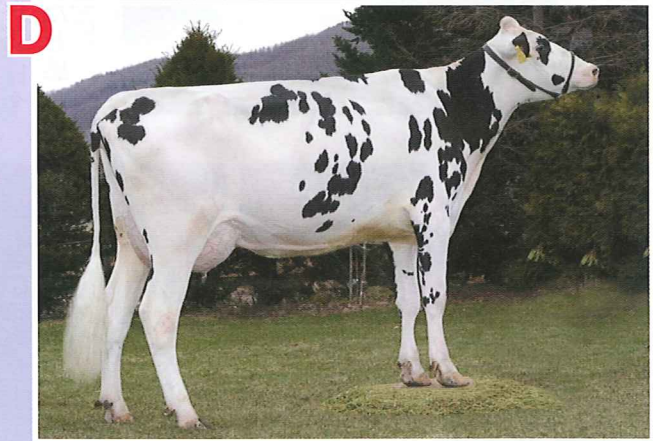
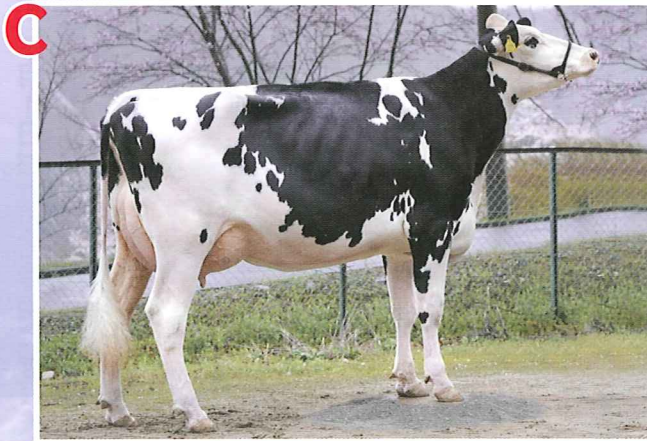
ホルスタイン写真 コンテスト

中春別乳牛改良同志会(竹田潤会長)では、毎年好評
であります「ホルスタイン写真コンテスト(2オクラス)」

を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募し
てください。

予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を
い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。ま
た、ベストアダーについても記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈
いたします。なお、正解者多数の場合は抽選により
決定いたします。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投
票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)また
は、授精師にお渡し下さい。
4. 応募〆切は、7月31日となっておりますので期日厳
守にて応募して下さい。



新職員の紹介

3カ月間の試用期間を終え、7月1日付けで新採用になりました職員を紹介いたします。試用期間中には農家実習も経験しましたので感想をご紹介します。

信頼される
職員を目指し



生産部生乳課
さいとう だいき
齋藤 大輝

3カ月間の試用期間を終え、この度、新採用となりました齋藤大輝です。試用期間中は様々な課を回り、先輩方の仕事をお手伝いさせてもらいながら、どの様

な仕事をしているかを学ばせていただきました。

先日、山崎理事のお宅で5日間の農家実習を受けさせていただきました。初めて体験することが多く、初日はパルプの配り間違えがあつたり、同じ所を行つたり来たり、搾乳の一連の流れがうまくつかめずいろいろな迷惑をかけてしまいました。山崎理事の指導を受け、作業姿を見て学び、何度も作業をしていくうちに一つひとつの作業がスムーズに

なっていることを実感しました。

搾乳以外の時間は、自分が搾った生乳が集荷される作業を見学させてもらつたり、業者さんが牛床マットを交換するところを見学させてもらつたり、植樹のお手伝いをさせてもらつたりなど、普段なかなか見ることのないことを経験しました。山崎理事は役員としての仕事があつたり、奥様は家事をしたりと、忙しい日々を過ごしているのだと感じ

ました。

山崎理事とご家族の方々には本当にお世話になりました。家族の皆さんは温かく、優しい家庭でとても良い農家実習をすることができました。

山崎理事から仕事に対する姿勢や、農協職員としての心構えを学びました。未熟者ではございますが、農家実習で得たことを活かし、信頼される職員になれるよう一所懸命頑張ります。

貴重な農家
実習を体験して



営農部営農振興課
まるやま りな
丸山 玲奈

6月9日〜13日の4泊5日、望月理事のお宅で農家実習をさせていただきました。

小さい頃から動物と触れ合うことが好きだったので、農家実習に行けるのをとても楽しみにしていました。

初日は望月理事に敷地内を案内してもらい、牛舎の掃除、1日前に生まれたばかりの子牛にミルクをあげたり寝糞を取り替えたり、望月理事が搾乳していると、そこを側で見ました。私が想像していた搾乳は手



で絞っているイメージしかなかったのでミルクを見

て少し驚きました。

2日目は人生初めての搾乳をやらせてもらいました。改めて近くで牛を見ると体がとても大きく、蹴られるのではと少し恐怖でしたが、お尻を撫でながら声を掛けたら大人しくしてくれました。時々嫌がつて暴れる牛もいたのですが、負けるもんかという気持ちで牛を落ち着かせ、なんとか乗り切りきつたところ、望月理事の奥さんに初めてとは思えないと

お褒めの言葉をいただき嬉しかったです。

3日目になると仕事の内容も少しずつ覚え、いろいろな仕事を与えてもらえたのですが、慣れない作業がほとんどなので失敗が多く、とても迷惑をかけてしまいました。

牛にも少しずつ慣れていき、最初に比べスムーズに搾乳をする事ができました。牛はとても敏感で繊細な生き物だということも学び



農作業事故防止に努めましょう!



【作業機を操作する場合】

農作業を安全に行うためには、日頃から安全意識を持ち、農作業機械・器具の日常点検や適正な操作を行い、安全な作業の実施を心がけることが必要です。

- 作業前に点検整備を行いましょ！
- 回転部等の整備は必ずエンジンを切って行いましょ！
- 異常等を感じた場合は、すぐに点検し、整備と周知を行いましょ！
- 不安定な場所、危険な場所へ作業機を動かさないようにしましょ！



○作業予定を事前に確認し合い適正な労働配分に努めましょ！

○緊急時に備え、家族や補助作業者にトラクターのエンジン停止方法や作業機械の動力遮断方法を周知して下さい。

○近年は高齢者の農作業事故が全国で多発しています。自分では気付けません歳を取るにつれ、集中力、判断力は衰えている事を自覚して、作業機を操作しましょ。

【作業環境への配慮】

作業中に『ヒヤリ』と感じる事があると思いますが、この『ヒヤリ』の影に事故が潜んでいると言われていています。危険な場所や行動はなくしましょ。

バンクリーナーのミッション部分の整備等で転落してしまう事故が起きていますので、手すりを付けたり、一人で作業しない等の安全対策を行いましょ。

作業員だけでなく周辺の子供等にも車両や作業機の下など危険箇所には近づかないよう徹底しましょ。

【ケガをしてしまったら】

万一、ケガをしてしまった場合は速やかに病院に行きましょ。担当の医師に労災が使えるか必ず確認してください。労災対応の場合は、病院・薬局の会計時にその旨を伝え、料金を支払わないでください。

労災対応の場合は、受診した病院・薬局を必ずメモし、印鑑を持って農協の経営相談課までお越しになってください。

ました。
4日目は仕事の流れも覚え、率先して作業に取り組むことができ、仕事が速いと褒められてとても嬉しかったです。

いつものように子牛にミルクをあげようとしたら、子牛が自ら近づいてきてミ

ルクを飲んでくれました。実習1日目は生まれたばかりだったので、ミルクをあげてもなかなか飲んでくれなかったのですが、4日目になると飲むことを覚えたと同時に、私のことを見てミルクをくれる人だと覚えてくれてとても嬉しかったのですが、

あと1日で実習が終わると思うととても寂しい気持ちでした。
最後の夜は望月理事と奥さんに温泉に連れて行ってもらったとき、ご飯もご馳走にならなるとも優雅な時間を過ごさせていただきました。今回の実習では、普段味

わえない貴重な体験をさせていただきました。
思っていたよりも疲れ仕事で、動物相手に作業をするだけでも大変なのに牛舎にいても、家の中にも休みなく働くと奥さんへ尊敬しました。
実習では牛のことだけを

北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

●【経営科】野菜苗・花苗販売会を実施!

5月18日(土)、毎年恒例となった本校の「野菜苗・花苗即売会」が温室で行われました。

良い天気とは言えませんでしたでしたが、多くのお客様に来校していただき、花の苗や野菜の苗を沢山買っていただきました。対応した本校酪農経営科の生徒たちは、「ずっとお客さんが続いて大変でした」と言いながらも、充実した表情を浮かべていました。平常日でも販売に対応いたしておりますので、購入の希望者はぜひお立ち寄りください。



沢山のお客様が来てくれました

●【経営科】寄せ植え講習会を実施!

6月6日(金)には毎年恒例になっているJA道東あさひ別海地区女性部を対象とした寄せ植え講習会が実施されました。今年度は3年生の授業の一環として生徒による品種の特徴や特性に関する説明会を行いました。その後、バランス、色合いなど考えながら寄せ植えに取り組みました。毎年参加されている方もいて、手際よく上手に寄せ植えを造られていました。これに先立って5月24日(土)には中西別地区婦人会を対象にした寄せ植え講習会も開催されており、地域の中でなくてはならない重要な役割を果たしています。参加された婦人部の皆様、お疲れ様でした。



生徒による講習が行われました

●【経営科】ふれあい農園を実施!

5月29日(木)、今年で13年目を迎えた、くるみ幼稚園との交流会「ふれあい農園」を実施しました。

幼稚園の年中、年長約50人と高校生1~3年生44人が、お互いに手を取り合いながら、ジャガイモの植え付け作業を実施しました。

今回は福島の被災者へ作ったイモを届けたいとの幼稚園さんの提案から、園児と高校生の共同で看板を設置しました。もちろん園児のヒーローポテトマンがその看板設置を手伝いました。秋には、収穫と試食を行い、より交流を深める予定になっています。



園児とポテトマンで看板を設置しました

●【専攻科】「農業特別専攻科学生研修会」が開催されました!

5月29日(木)~30日(金)に農業特別専攻科学生研修会が本校を当番校にして行われ、富良野緑峰高校の農業特別専攻科学生と本校農業特別専攻科学生合計16人が参加しました。道内に2校しかない農業特別専攻科の学生同士の交流を深め、研修から多くのことを学ぶことを目的に、富良野緑峰高校専攻科との間で行われているもので、今年で40回目を数えます。



富良野緑峰高校の学生と一緒に

1日目は別海町体育館と郊楽苑にて交流会を実施し、酪農業と畑作業という農業でも内容の大きく違う互いの経営スタイルについての積極的な意見交換と、レクリエーションなどを実施しました。



明郷 伊藤牧場視察

2日目はべつかい乳業公社にて、中村専務より興社のマーケティング内容等の説明を受け、その後、工場を見学しました。また、根室明郷の伊藤牧場見学では、酪農の6次産業の事例を、伊藤社長の説明のもと体感しました。初めは富良野緑峰高校の学生達との間にやや緊張感の残るスタートでしたが、少しずつ緊張も解け、交流会や合同の視察研修をとおして、すっかり意気投合する両校の学生の姿がありました。両校学生とも、今後の農業経営のヒントを多く学んだ研修となりました。

●【専攻科】農業機械高度利用研修受講

北海道立農業大学校において農業機械高度利用研修(初級:6月2日(月)~6日(金)・中級:6月9日(月)~12日(木)が実施され、

初級と中級合わせて学生5人が受講しました。中級では研修最終日に行われる技能検定試験に合格すると北海道農業機械士の資格を取得することができます。受講学生たちは農業機械の構造や整備などを詳しく学び、とても有意義な研修となりました。



研修(初級)を終えて

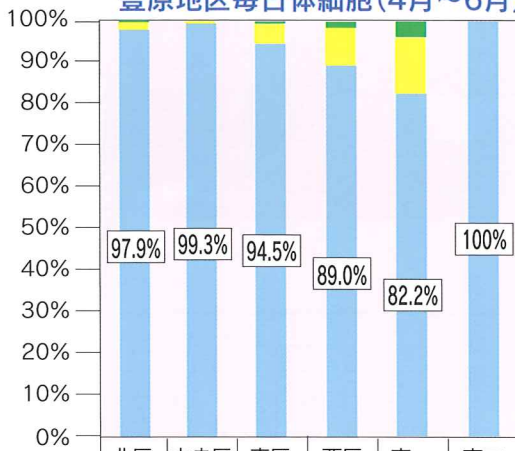


生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では1件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

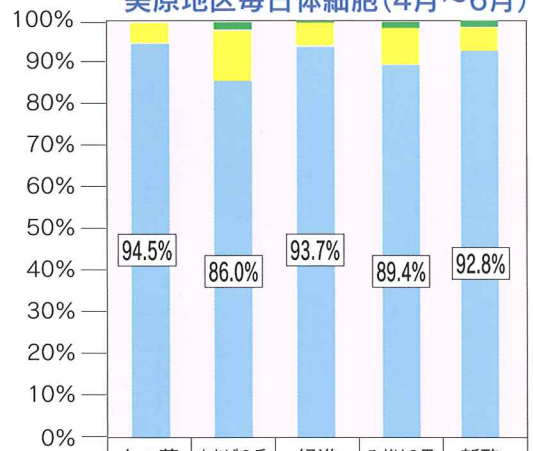
＊出荷前に抗菌性物質簡易検査キットで自主検査の実施
 ＊自動洗浄後の定期的な目視による洗浄確認の実施
 安全できれいな生乳出荷に努めましょう。

豊原地区毎日体細胞(4月～6月)



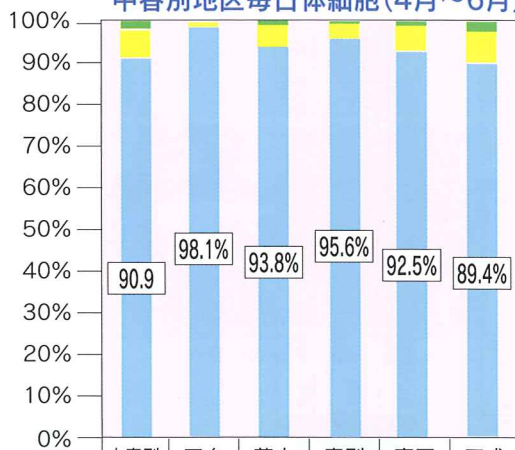
50.5万以上	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	1.2%	0.0%
40.5～50.4	0.3%	0.0%	0.7%	1.8%	3.2%	0.0%
30.5～40.4	1.8%	0.7%	4.6%	9.0%	13.4%	0.0%
30.4万以下	97.9%	99.3%	94.5%	89.0%	82.2%	100%

美原地区毎日体細胞(4月～6月)



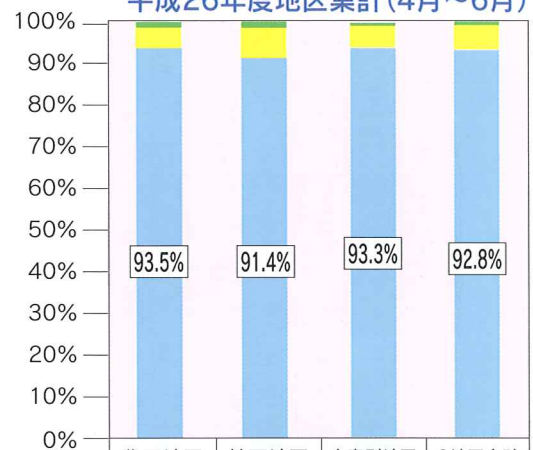
50.5万以上	0.2%	0.3%	0.0%	0.4%	0.2%
40.5～50.4	0.4%	1.7%	0.9%	1.5%	1.3%
30.5～40.4	4.9%	12.0%	5.4%	8.7%	5.7%
30.4万以下	94.5%	86.0%	93.7%	89.4%	92.8%

中春別地区毎日体細胞(4月～6月)



50.5万以上	0.9%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	1.1%
40.5～50.4	1.8%	0.0%	0.8%	0.9%	1.6%	2.2%
30.5～40.4	6.4%	1.6%	5.2%	3.5%	5.9%	7.3%
30.4万以下	90.9%	98.1%	93.8%	95.6%	92.5%	89.4%

平成26年度地区集計(4月～6月)



50.5万以上	0.3%	0.2%	0.4%	0.3%
40.5～50.4	1.0%	1.2%	1.2%	1.1%
30.5～40.4	5.2%	7.2%	5.1%	5.8%
30.4万以下	93.5%	91.4%	93.3%	92.8%



第4回 理事会の動き

平成26年6月19日(木)

議案

1. 平成26年度理事報酬額の配分(案)並びに支給方法について
2. 平成25年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
3. 職制規程における機構図の一部改正について
4. 労働力補完事業に係る鯉淵学園との協定書の締結について
5. 平成26営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
6. 大家畜特別支援資金の貸付について

報告事項

1. 平成26年度試用採用職員の農家実習終了について
2. 組合員加入について
3. 組合員の脱退について
4. 内部管理体制にかかる指導要綱・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
5. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
6. 平成26年度5月末営農生産関連実績について
7. 平成26年度JA中春別乳牛共進会成績について

協議事項

1. 持続可能な北海道農業の確立に向けたJAグループ北海道の考え方(案)について

5月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差
乳脂肪分		860.761		33.31	31.33	1.98
無脂乳固形分		543.119		47.51	43.95	3.56
補給金		4.7811		4.78	5.05	-0.27
計画チーズ奨励金		1.9271		1.93	1.90	0.03
乳質単価	生菌数	ランク1 2	319,659,296.9kg	3.73	3.68	0.05
		ランク2 0	6,122,531.8kg			
		ランク3 -3	192,212.3kg			
	体細胞数	ランク1 2	280,762,637.2kg			
		ランク2 1	23,660,019.6kg			
		ランク3 -2	3,830,271.3kg			
合計				91.26	85.91	5.35

5月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg) %
乳脂肪分①	33円31銭
無脂乳固形分②	47円51銭
補給金③	4円78銭
チーズ奨励金④	1円93銭
脂肪率	全道 3.87%
	農協 3.93%
無脂固形分率	全道 8.75%
	農協 8.70%
成分乳価	全道 87円53銭
①+②+③+④=⑤	農協 85円86銭
乳質乳価⑥	全道 3円73銭
	農協 3円74銭
乳代合計	全道 91円26銭
	農協 89円60銭
⑤+⑥	差異 -1円66銭

懐かしきあの頃… そして今。



今月は「収穫作業」に注目したいと思います。
今の収穫作業のイメージは、大きな機械で刈り取りし、牧草の積み込みも自走式ハーベスターでダンプに積み込む作業風景をイメージする人が多いのではないのでしょうか。
50年前の収穫作業では、トラクターを持って農家が少なく、馬が中心となって収穫作業を行ってました。当時の収穫作業は今に比べると重労働で、牧草の積み込み作業ひとつとっても、家族総出でフォーク片手に馬車の荷台に手積みで行っており、「午後になると疲れて手に力が入らず大変だった」と教えてくれました。



今月号より「懐かしきあの頃…そして今」を新連載いたします。昔と今では、いろいろな物が大きく変わってきており、世代によっては懐かしく感じる人や初めて見る人もいると思います。

編集後記

- ▼6月下旬に入り良質粗飼料確保のため、一番草収穫作業が一斉にスタートしたことを思います。別海町では2件の農機具整備中の事故が発生いたしました。作業を始める前には十分に注意してほしいと思います。また、日々の仕事に加え収穫作業が重なり疲労、負担が蓄積されてきていることと思います。くれぐれも事故には気をつけてください。
- ▼今月号のくみあいだよりでは、3カ月間の試用期間を終え、7月1日付けにて本採用となったフレッシュな新人を紹介しました。今後、若い力をフルに発揮し、農協、また、組合員のため頑張ってください。
- ▼第40回中春別農業協同組合通常総会が開催され、承認をいただきました。26年度基本方針、重点項目の実現達成にむけて役員一体となり取り組んでまいります。
- ▼今月号より組合だよりを担当することとなりました。澁谷浩一です。取材、要望、ご意見などがありましたら是非お知らせください。よろしく願います。

平成 26 年度

中春別農協・各組織役員名簿

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名																
理 事 会	代表理事	小 湊 保	中春別農協 年金友の会	理 理	永 野 真 佐 子																
	副組合長	藤 倉 紀 夫		理 理	望 月 千 恵																
	専務理事	佐 藤 武 英		監 監	上 神 佳 代 子																
	常務理事	大 山 山 武 英		監 監	木 原 幸 順																
	理 理	望 月 月 川 英 寛		会 会	南 澤 昌 晴																
	理 理	西 川 藤 一 吉		副 副	高 橋 口 正 己																
	理 理	伊 藤 藤 崎 浩 二		副 副	田 西 川 間 勉																
	理 理	遠 山 井 真 一		会 会	平 鈴 木 郁 夫																
	理 理	山 井 真 青 史		副 副	鈴 中 山 口 進																
	理 理	荒 紫 藤 正 幸 彦		監 監	山 口 潤 優																
監 事 会	代 表 監 事	平 荒 紫 藤 正 幸 彦	中春別乳牛 改良同志会	会 会	竹 田 潤 優																
	外 監 事	荒 紫 藤 正 幸 彦		副 副	浮 川 修 二																
総務経済委員会	委 員 長	望 遠 山 浩 二	農 事 組 合 長 会	会 会	牧 野 修 吉																
	委 員	山 崎 浩 二		理 理	島 山 晃 光																
営農生産委員会	委 員 長	西 川 倉 藤 一 吉	中春別乳検組合	理 理	高 山 久 保 光 靖 博																
	委 員	伊 藤 一 吉		代 表 監 事	山 田 博																
労 務 委 員 会	委 員 長	小 湊 保 夫	中春別酪農 対策協議会	北 中 東 西 南 南 北 北 久 玉 浮 長 柿 原 小 小 富 小 林	渡 邊 覚 (会 長)																
	委 員	藤 倉 紀 夫				区 区 区 区 一 二 葉 丘 進 里 酪 別 糸 水 別 岡 成	渡 邊 奎 一 也 理 充 人 太 郎 幸 忠 優 彦 (副 会 長)														
中春別酪農 対策協議会	委 員 長	西 川 邊 隆 二	良質生乳生産 推進委員会	委 員 長	西 川 寛 稔 吉																
	副 会 長	渡 寺 井 内 藤 一 貞 吉 志 彦 悟 孝 武 子 美 治 幸 司				副 委 員 長	伊 藤 一 浩 真 青 藤 邊 村 貞														
	副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	伊 藤 中 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)						委 員	西 伊 小 藤 佐 渡 中												
	副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	村 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)								員	川 藤 倉 藤 邊 村										
	副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	久 村 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)										員	村 貞								
	副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	久 村 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)												員	村 貞						
	副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	久 村 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)														員	村 貞				
	副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	久 村 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)																員	村 貞		
	副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	久 村 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)																		員	村 貞
	副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	久 村 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)																			
副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	久 村 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)	員	村 貞																		
副 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任 委 任	久 村 長 高 松 兼 野 矢 貴 志 (会 計)			員	村 貞																
中春別農協青年部	部 長					松 井 和 孝 武 志 介 悟 嗣 大 司 太 一 子 美 子	中春別農協女性部	部 長	齊 藤 清 優												
	副 部 長					兼 野 片 千 山 久 小 相 平 齋 佐 浮				部 長	藤 清 優										

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
	委員	寺井隆二		代表	村山英司
	委員	北澤内光太郎		監事	芳中秀
	委員	原内真修		委員	上金子琢
	委員	高橋野真大		委員	小片野大
	委員	片澤中真由美		委員	片野勉
	委員	相澤順子		委員	千葉悟
	委員	南澤一吉		委員	藤倉津
	委員	伊藤内紀夫		委員	相澤井孝
	委員	藤倉川寛		委員	平貫一功
	委員	西邊口豊隆		委員	小貫芳樹
	委員	渡田井豊隆		委員	青野嘉
	委員	寺北光太郎		委員	酒井本雅
	委員	内藤宏幸		委員	橋真天
	委員	片野大孝		委員	浦山栄志
	委員	相澤寛太		委員	上竹神史
	委員	川藤一吉		委員	高橋原二
	委員	伊藤倉邊村貞隆		委員	藤村池田
	委員	渡中井隆二		委員	原井田一
	委員	寺北光太郎		委員	小藤倉月
	委員	原内真大		委員	望川英
	委員	高橋野真由美		委員	西藤武
	委員	相澤中真由美		委員	山藤山
	委員	南澤邊口豊隆		委員	小佐藤
	委員	渡田中村豊		委員	藤山崎
	委員	中西牧田泰		委員	山西川
	委員	上渡片岡一有		委員	佐藤屋
	委員	渡藤保山		委員	土勝
	委員	紫久奥加		委員	荒屋勝
	委員	眞花岡		委員	藤屋勝
	委員	増岡哲		委員	藤屋勝
	委員	寺井隆二		委員	小猿
	委員	長沼川優		委員	藤倉
	委員	浮川忠		委員	遠藤
	委員	玉木幸		委員	伊藤
	委員	久未敏光		委員	佐藤
	委員	北澤昌		委員	紫藤
	委員	熊谷浅		委員	藤倉
	委員	岩内修		委員	西川
	委員	原内宏		委員	望月
	委員	内藤真		委員	平井
	委員	高橋裕		委員	望月
	委員	石森		委員	藤倉
	委員			委員	奥山
	委員			委員	遠藤
	委員			委員	馬場
	委員			委員	尾形
	委員			委員	富永
	委員			委員	佐々木
	委員			委員	貴
	委員			委員	子
	委員			委員	太郎
	委員			委員	功
	委員			委員	志
	委員			委員	史
	委員			委員	潤
	委員			委員	学
	委員			委員	二
	委員			委員	雄
	委員			委員	一
	委員			委員	保
	委員			委員	夫
	委員			委員	彦
	委員			委員	稔
	委員			委員	猛
	委員			委員	永
	委員			委員	武
	委員			委員	保
	委員			委員	朗
	委員			委員	夫
	委員			委員	二
	委員			委員	稔
	委員			委員	猛
	委員			委員	茂
	委員			委員	史
	委員			委員	勝
	委員			委員	青
	委員			委員	保
	委員			委員	幸
	委員			委員	夫
	委員			委員	均
	委員			委員	吉
	委員			委員	猛
	委員			委員	幸
	委員			委員	夫
	委員			委員	稔
	委員			委員	彦
	委員			委員	一
	委員			委員	英
	委員			委員	真
	委員			委員	彦
	委員			委員	一
	委員			委員	幸
	委員			委員	子
	委員			委員	美
	委員			委員	奈
	委員			委員	子
	委員			委員	夫
	委員			委員	文
	委員			委員	好
	委員			委員	枝
	委員			委員	太
	委員			委員	郎
	委員			委員	子